

科目名	プロジェクトを成功させるための見積もり技術	
担当講師	初田賢司	
分類	選択	
授業時間数（時間）	7.5	
授業形態	キャンパスでの対面講義	
授業の概要	業務アプリ開発プロジェクトの成否の大半は見積もりで決まると言っても過言ではない。見積もりにミスがあると、プロジェクトはたちまち混乱する。だが、ITプロジェクトの見積もりにおいて、これを使えばピタリと当たるという魔法の仕掛けはなく、現場では属人的で根拠に乏しい見積もりが氾濫しているのが実情だ。本講義では、見積もりにエンジニアリングとマネジメントの側面から光を当て、体系だったディスカッションや演習を通じてプロジェクトを成功させるために必要な見積もりの論理性、合理性を高める技術を習得する。	
特色とメリット	ITプロジェクトの見積もり技術を体系的に学べる機会はずくない。加えて見積もるためには、ソフトウェアを中心としたITプロジェクトの構造や特質を理解したうえで考える力が必要。本講座では、小手先の技術だけでなく、見積もりを通じてITプロジェクトの本質に踏み込んで講義する。	
学習目標	本講義を通して受講者が以下のような知識・スキルを習得することを目標とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・見積もりのプロセスと基本的な技法を説明することができる ・案件や見積もりの場面に応じて適切な見積もり技術を使うことができる ・作成したプロジェクトの見積もりをロジカルに説明することができる ・受け取った見積もりをロジカルに評価することができる。 	
内容	見積もり概論	なぜ見積もりは必要なんだろう？何のために見積もるんだろう？ 見積もりへのアプローチ方法を考える 見積もり技法や見積もりの手順などの基礎知識を解説
	見積もり技術の体系的な理解	<ul style="list-style-type: none"> ・規模見積もりの技法と適用のポイント ・工数見積もりの技法と適用のポイント ・期間見積もりの技法と適用のポイント ・コスト見積もりの技法と適用のポイント ・価格見積もりの技法と適用のポイント ・見積もりの入力情報
	見積もり演習	〔ケーススタディ〕 A社 業務更改プロジェクトの見積もり <ul style="list-style-type: none"> ・見積もりの方針と手順を考えてみよう ・ステークホルダーからの情報収集 ・実際に見積もってみよう
受講の前提条件	ADPISA-Mの「価値を実現するためのプロジェクトマネジメント」の1日目を受講済み、もしくはPMIのPMP資格、情報処理試験のプロジェクトマネージャー資格などを有することを受講の前提条件とする	
事前学習	「受講の前提条件」を満たしていれば特になし	
事後学習	特になし	
参考文献・オンライン科目	初田賢司「本当に使える見積もり技術 [改訂第3版]」日経BP社	